

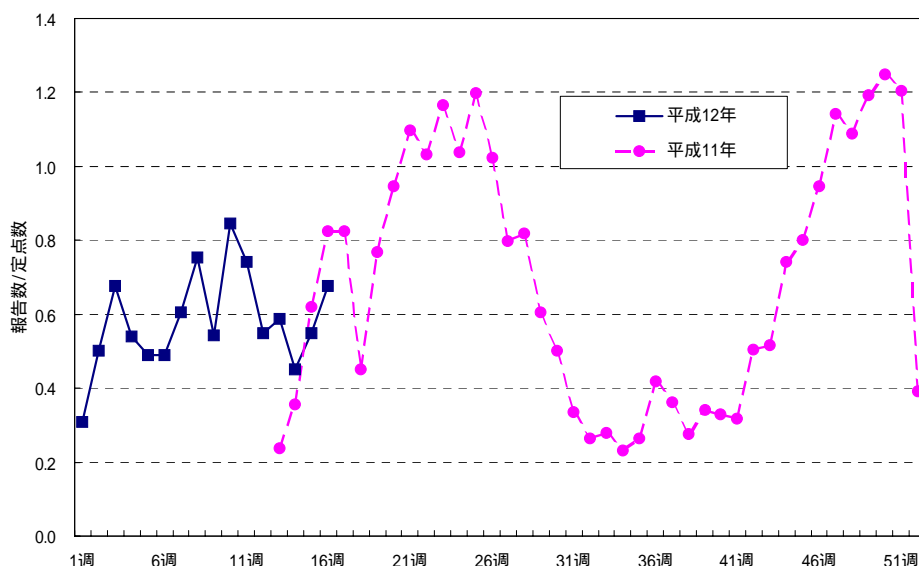
愛知県感染症情報

平成 12 年第 16 週（4 月第 3 週）

（コメント）

咽頭結膜熱、伝染性紅斑、手足口病及びヘルパンギーナの散発が見られます。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、夏に向けて流行が予測されますので、注意してください。なお、第 15 週のコメントに A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少したとありましたが、その後の訂正報告により、減少は認められませんでした。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から）

（先生方からのコメント）

- ・ 水痘の子増えてきました。

（豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科）

- ・ 保育園で水痘、ムンプス流行。

（豊橋市 富田小児科）

- ・ 特に目立った疾患なし。

（田原町 かわせ小児科）

- ・ 3才、6才、9才の3人姉妹で麻疹。6才の女児から始まった。
いずれもワクチン接種歴なし。

（岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院）

- ・ ロタ 0才男

（岡崎市 医療法人深田小児科）

- ・ 高熱持続する扁桃炎多く、EB抗体価に動きなし。
(岡崎市 花田こどもクリニック)
- ・ 1才男 病原性大腸菌 0-6 (+) VT1、VT2(-)
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ 病原性大腸菌 0-1 (+) VT1、VT2(-) 2才男
(岡崎市 とみた小児科)
- ・ ムンプスが増えてきました。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 感染性胃腸炎も減少し、全体に落ち着いて1週間でした。
(西尾市 山岸クリニック)
- ・ 感染性胃腸炎全年齢に認めました。
(知立市 宮谷クリニック)
- ・ 病原大腸菌 0-6 4ヶ月女、0-1 1才男
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
- ・ カンピロバクター腸炎 3才男
(東海市 小児科ハヤカワ医院)
- ・ 咽頭結膜熱2例(1才、4才)、いずれもアデノ陽性。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ 突発性発疹、水痘散発。
小児嘔吐、下痢減少してきました。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ 感染性胃腸炎 57名中には病原性大腸菌 0-167 2才女、カンピロバクター腸炎 4才女2名、13才女2名、ロタウイルス腸炎 1才男、アデノウイルス陽性者(糞便中)3才男が含まれます。
マイコプラズマ抗原陽性の肺炎が急増しています。男4名(3才、4才、7才、44才)女4名(4才、9才、29才、35才)
百日咳 7ヶ月女
突発性発疹 1才男
(尾西市 城後小児科)
- ・ 突発性発疹・水痘の混合感染がありました。水痘が流行しています。
(春日井市 かがわ北病院)
- ・ 特に目立つ感染症はありません。喘息がやや増えてきてます。
(小牧市 小牧市民病院)
- ・ 4~7日のfever up(発熱) CRP* 5.0~7.0患者多し
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ 病原性大腸菌 0-126 10ヶ月男、0-11とカンピロバクター 3才男、0-18 11ヶ月女いずれもVT1、VT2(-)
(江南市 河野小児科)

- ・ 感染性胃腸炎、夜間咳嗽の強い気管支炎が流行しています。水痘の患児も少し多くみられています。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

* CRP (C 反応性蛋白) について

試験管内で肺炎球菌の C 多糖類と沈殿物を形成するグロブリン。血清中への出現は、感染性か非感染性かの鋭敏な指標になる。

(1 ~ 3 類感染症の発生状況)

細菌性赤痢患者 3 名。

- ・ 瀬戸保健所から報告の 24 才女、4/6 発病、4/12 初診、4/15 診定、菌型はフレキシネル b。
- ・ 豊田市保健所から報告の 29 才男、4/9 発病、4/18 初診、4/20 診定、菌型はボイド。インドネシア渡航歴あり
- ・ 豊田市保健所から報告の 53 才男、4/9 発病、4/20 初診、4/20 診定、菌型はボイド。インドネシア渡航歴あり

腸チフス患者 1 名。

豊田市保健所から報告の 12 才男、4/17 発病、4/20 初診、4/22 診定
インド渡航歴あり

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者 1 名。

アメーバ赤痢患者 1 名

ジアルジア症患者 2 名

第 14 週 (平成 12 年 4 月 3 日 ~ 4 月 9 日) の 4 類感染症の全国状況
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数が例年の同時期より多い。感染性胃腸炎は患者報告数が多く、過去 10 年間で最大の流行曲線を描いている。患者の年齢階級別で見ると、6 歳以下の小児が全体の 4 分の 3 を占め、ピークは 1 歳にある。水痘は沖縄県で定点当たり 4.0 の報告があり、九州地方でも定点当たり報告数が多くなっている。麻疹は依然大阪府、千葉県で大きな流行が見られ、兵庫県、和歌山県、埼玉県、栃木県でも患者報告数が多くなっている。流行性角結膜炎は、宮崎県と茨城県で定点当たり報告数 4.5 、愛媛県で 3.7 と報告数が多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

霜注意報の出る日はあっても、良い季節になりました。春眠暁を覚えず、で授業中居眠りをしている学生が目立つ昨今です。いつも貴重な情報を有難うございます。遅くなりましたが4月前半のまとめをお送りします。

1. 名古屋市内：相変わらずウイルス性の下痢症が各地区で目立っています。年少児中心でロタウイルス陽性の例が多い地区と年長児にも広がっていて嘔吐が中心で小型粒子ウイルスを思わせる地区があるようです。家族内感染例の報告もいただきましたし、脱水による要入院例も目立っています（第一日赤有吉先生、国立病院松下先生、千種区今枝先生、三菱病院岩間先生、労災病院伊藤先生）。ウイルス性下痢だけではなくてカンピロバクタ - 腸炎の家族感染の報告も三菱病院岩間先生からいただきました。気道感染症では新生児のRSウイルス感染症（国立・松下先生）、仮性クル - プ（労災・伊藤先生）、感冒に合併した気管支喘息（城北病院渡辺先生）、気管支肺炎と喘息性気管支炎目立つ（三菱・岩間先生）、などのお手紙をいただいています。その他EBウイルス感染症（第一日赤有吉先生：要入院例あり）、溶連菌感染症が増加傾向でアレルギー - 性紫斑病散発（城北・渡辺先生）、川崎病の入院が目立つ（第一日赤有吉先生、労災・伊藤先生）とのお知らせもいただきました。全市的に水痘の小流行が散発しているようです。

2. 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎が多発中で水痘と溶連菌感染症が散発中、津島市民病院長田先生からはウイルス性の肺炎とウイルス性の胃腸炎（ロタウイルス陽性例と陰性例あり）が目立つ、江南市からは感染症全体は減少中で年長児の麻疹の同胞例あり、溶連菌感染症とロタウイルス陽性の嘔吐下痢症（脱水で要入院例あり）が小流行中、との報告です（昭和病院丸地先生、愛北病院水谷先生）。瀬戸陶生病院山口先生からはロタウイルス腸炎入院例少数、3ヵ月未満の百日咳2例入院、A群溶連菌感染症がパラパラあり、常滑市民病院肥田先生からはロタウイルス感染症の入院例1例と仮性クル - プの入院2例あり、とのお手紙でした。

3. 三河地区：豊田地区からはロタウイルス感染症が相変わらず多く入院例が目立ち、マイコプラズマも少し出始め、重症の喘息発作ありとのお手紙です（加茂病院大須賀先生、トヨタ病院木戸先生、竹内病院梶田先生）。安城更生病院小川先生からはロタウイルス感染症の要入院例が数名あり水痘散発中、知立市近藤先生からは水痘がやや多く小学生の嘔吐性感冒がやや多い、刈谷市田和先生からは水痘と感染性胃腸炎がぼつぼつあり、碧南市永井先生からは水痘とムンプス、溶連菌感染症が散発中、豊橋市からは水痘の散発と突発疹、ロタウイルス腸炎が目立つとのお手紙でした（市内宮澤先生、長屋先生）。有難うございました。（文責 磯村）

4. 当方の手違いから連絡が遅くなり多数の先生方から3月後半の情報を今回いただきました。出来るだけ上記のまとめに記入いたしましたが一割愛させていただきますのをお詫びいたします。今後は出来るだけ早い情報をお届け出来るよう努力いたします。